



桜町中校報

教育目標：心身ともに健康で人間性
豊かな行動力のある生徒の育成

真善美

めざす生徒像

思慮深く創造性のある生徒
心豊かで思いやりのある生徒
健康で明るく気力のある生徒
規律を重んじ協力して実践する生徒

令和7年10月23日(木)

第23号

(文責：校長 勝部)

いよいよ桜中文化祭が始まります

～みんなの心に届く発表を期待しています～

今年度の桜町中文化祭が、いよいよ明日(24日)の午後開幕します。生徒の皆さんは今まで、「最高到達点」というスローガンを定め、文化祭に向けての生活向上取組、学級での合唱づくり、部活動や委員会の発表の準備、さらに、生徒会執行部はセレモニーの準備と、限られた時間の中で文化祭活動を精一杯行ってきました。取組の途中では、みんなの意見が対立し、なかなかまとまらないなど、様々な困難もあったと思いますが、それらを乗り越えて、より良いものを創ろうと努力してきました。

明日からの2日間は、自分たちの力をしっかり出し切り、自分たちが満足するとともに、見に来ている家族や地域の方々に元気と感動を与えられるような発表をしてくれることを期待しています。ご家族の皆さんには、子どもたちの頑張っている姿をぜひ見ていただきたいと思います。ご来校をお待ちしております。

ステージ発表の主な内容は次の通りです。

24日(金)午後：開会式、各種コンクール出場者の発表、文化部・委員会の発表

25日(土)午前：合唱コンクール(学級合唱の発表) 午後：特設合唱部の発表、閉会式

スローガン 「最高到達点」

設定理由

- ・一人一人の到達点が集まって、自分たちの最高の力を発揮し、桜中の文化祭としての最高到達点にたどりつく。
- ・お互いに協力し、個性を認め合い、個人やクラスの最高到達点にたどりつく。
- ・文化祭が終わった後も、学んだことを生かして昇華し続ける。

地域のものづくり企業による出前授業を開催

10月8日(水)、1学年では、両磐インダストリアルプラザ(金澤英治会長)さんの呼びかけと北上川流域ものづくりネットワークさん、一関商工会議所さんの協力の下、ものづくりに関わる出前授業を開催しました。

当日は、興栄通信工業株式会社、SWS東日本株式会社、千住スプリンクラー株式会社、UBE三菱セメント株式会社岩手工場の4社の皆様が来校し、会社の事業内容のお話やものづくりの体験学習などを行っていただきました。生徒は緊張しながらも、はんだごてによる接着作業やコードのテープ巻き、スプリンクラーのヘッド部分の製作など、熱心に取り組んでいました。地域で活躍している企業の様子を知り、キャリア教育の一助になれば幸いです。

